

# オートデスク プレスリリース

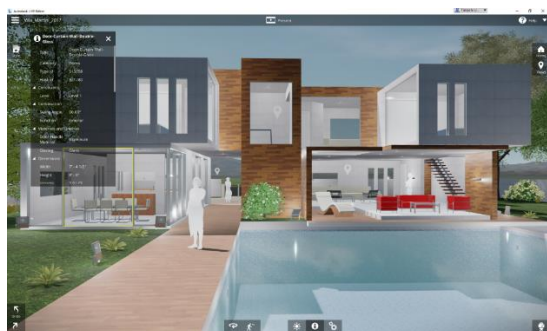
報道関係各位

2016年9月21日

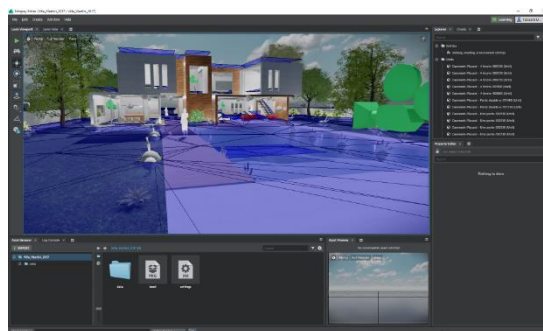
## Autodesk® Revit® の簡単な操作で BIM データから 3D インタラクティブ コンテンツを作成する クラウド サービスを 9 月下旬から提供開始

オートデスク株式会社は、当社のソフトウェアとクラウド サービスを連携させて、高品質な 3D インタラクティブ ビジュアライゼーションを実現する技術「LIVE Design」の開発を進めています。その第 1 弾として当社は、BIM ソフトウェア「Autodesk® Revit®」の BIM データから、バーチャル リアリティ (VR) などに見える 3D インタラクティブ コンテンツを簡単な操作で作成できるクラウド サービス「Autodesk LIVE」を、9 月下旬から当社オンラインストアで発売します。このサービスを利用することで、建設プロジェクト関係者、施主、利用者など、立場の異なる人たちが完成前の建物や施設の内外をバーチャル上でリアルに体感できるようになりますので、今までとは異なる新しい方法でプロジェクトの品質向上を目指すことができます。

Autodesk LIVE 紹介サイト: [area.autodesk.jp/product/live/](http://area.autodesk.jp/product/live/)



BIM データのプロパティを  
表示している例



ゲーム制作エンジン Stingray で  
表示している例

建設業界では、建物の外観や内部の情報をプロジェクトの関係者と共有したり、施主や利用者に説明したりする際に、2D/3D CG を使用することが頻繁にあります。制作は専門業者に外注することが一般的です。この場合、2D では完成後のスケール感や雰囲気を経験しにくく設計意図が伝わらなかったり、3D では制作に時間と費用がかかり、変更・修正の手間も発生します。

これに対して Autodesk LIVE は、設計者が Revit の簡単な操作で建物のリアルな 3D インタラクティブ コンテンツを制作できます。このコンテンツは建物の外観や内部を実際の建物のように

# オートデスク プレスリリース

に表現して、見た目やスケール感を確認できるだけでなく、車椅子やお年寄り、子供の利用を想定して視点の高さを変えて内部を移動しながら、障害物の有無や扉の動きの安全性を検討したりすることができます。また、季節の気象条件を変えて、太陽光が窓からどこまで差し込むかを確認して照明の量を検討したり、人や植物の 3D データをコンテンツ内に配置して人の流れや視線に入る風景を確認することもできます。

## 建設プロジェクト関係者のメリット

このコンテンツには BIM データが含まれますので、完成後のイメージが理解・共有しやすくなるだけでなく、より質の高いレベルの情報共有による業務効率の向上と作業品質の向上が期待できます。検討後の修正は設計者が Revit の BIM データで行いますので、外注業者や多くの人を介在する必要がなく、すべての情報が一元管理されます。

## 施主、利用者のメリット

着工前や完成前に、さまざまな条件の使い勝手をバーチャルでリアルに体感できますので、運用後のイメージをより明確に理解することができます。また、異なる用途で見せたい場面だけを組み合わせプロモーションに使用することもできます。

Autodesk LIVE で制作した 3D インタラクティブ コンテンツは、無料で提供するビューワを使用して VR 機器、iPad®、PC などで見ることができますので、現場を離れた会議室でも時差のある海外でもいつでも見ることができます。さらに、Autodesk LIVE で作成したデータを当社ゲーム制作エンジン「Stingray」で加工すると、コンテンツを見る操作画面を用途に合わせて柔軟に変更することもできます。

## Autodesk LIVE 概要

- 発売日: 9 月下旬
- 希望小売価格(税抜): 1 カ月 5,000 円
- 提供方法: 当社オンラインストア [store.autodesk.co.jp](http://store.autodesk.co.jp)
- 動作環境: Microsoft® Windows® 7(SP1) / 8.1 / 10。64 ビット OS のみ  
<http://autodesk.com/live-systemrequirements>
- 対応 VR 機器: HTC Vive、Oculus Rift

### Autodesk LIVE Viewer

- 提供開始日: 9 月下旬
- 希望小売価格(税抜): 無償
- 提供方法: 当社 Web サイト [www.autodesk.com/products/live/viewer](http://www.autodesk.com/products/live/viewer)
- 動作環境: Microsoft® Windows® 64 ビット OS、  
iOS® 9.0 以降 (iPad Air 以降、iPad mini 2 以降、  
iPad Pro 以降)
- 対応 VR 機器: HTC Vive、Oculus Rift

# オートデスク プレスリリース

## 「The Future of Making Things」～創造の未来～ について

近年、新しい技術を利用した製造や建設、消費者の購買行動の変化、イノベティブな製品を生むコラボレーション環境などが組み合わさって、何かを作る方法が全く新しい方向に転換しています。これにより、世界の産業構造は著しい変化に直面しています。こうした変化に率先して対応するために、当社は「The Future of Making Things」～創造の未来～ という考え方の基、最新技術を取り入れた幅広いアプリケーションとサービスを提供しています。お客様がこうした市場環境の変化にも対応できるように、当社は将来必要になるデザインとワークフローを業界の先頭に立って提案していきます。

※ 希望小売価格は、2016年9月時点の日本における当該製品またはサービスに対するオートデスクのメーカー希望小売価格(税別)を示します。希望小売価格にインストール費は含まれません。希望小売価格は参考値としてご参照ください。その他の諸条件が適用される場合もあります。

以上

### オートデスク株式会社概要

本 社: 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 24F  
代表取締役: マイケル・キング  
設 立: 1985年4月1日  
資 本 金: 1億円  
ホームページ: <http://www.autodesk.co.jp>

### Autodesk, Inc.会社概要

オートデスクは、何かを作り出す方々のためにソフトウェアを開発しています。高性能車の運転、超高層ビルへのあこがれ、スマートフォンの便利さ、すばらしい映画を見た感動。これらはオートデスクのソフトウェアを使った数百万人のお客様が作り上げた仕事から、皆さんが受けた体験です。オートデスクは皆さんが何かを作るパワーを提供します。

#### 《本件に関する報道関係者のお問い合わせ先》

オートデスク株式会社 PR 事務局

担当: 英・今関(ビルコム株式会社内)

Email: [autodesk@bil.jp](mailto:autodesk@bil.jp) / [Tel:03-5413-2411](tel:03-5413-2411)

または

オートデスク 広報 池田

Email: [kazuomi.iked@autodesk.com](mailto:kazuomi.iked@autodesk.com) / [Tel :080-8848-5833](tel:080-8848-5833)

Autodesk、Revitは、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。該当製品およびサービスの提供、機能および価格は、予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。また、本書には誤植または図表の誤りを含む可能性があります。これに対して当社では責任を負いませんので予めご了承ください。

© 2016 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk and Revit are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and

# オートデスク プレスリリース

*pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.*

*© 2016 Autodesk, Inc. All rights reserved.*